

(2) 第2回コサルのテーシヨン(200X+1年2月) ~
 あた大と頻が行くか行ちとヨ視
 た暴切ま繁、動れら動着いん点
 第2回コサルのテーシヨン(200X+1年2月) ~
 別C支果シ計に
 支の男体大のす
 援が体大のす
 シがヨ画示
 計に大のす
 果が体大のす
 シがヨ画示

(ア) 教育力のある(河村, 1999)。
 る集団であ(河村, 1999)。
 あの本がて級い聴たす
 る集団であ(河村, 1999)。
 あの本がて級い聴たす

(イ) 児童が楽しみながらふれあ
 をたん学う示ムルル中し
 児童が楽しみながらふれあ
 をたん学う示ムルル中し

(3) 第3回コサルのテーシヨン(200X+1年5月) ~
 個別C支果シ計に
 支の男体大のす
 援が体大のす
 シがヨ画示
 計に大のす
 果が体大のす
 シがヨ画示

褒がで示れ、唆、一、う積障助、学拳きともにさい、な学わ、の中止会研究にい、進巡まけな象ル谷功達同本研お育ンる
 か合、提さり示、らレしよに、な「をてるのさんて方ブのたと別。け戦研ンがテ、推るがお効対サ浜成発共。のに教タく
 な場今を示なを、がト価の童う的、」つめト康コっリィ男っも個る受作本ヨ家ル、育よ果に有「ン、の」をる谷級、ルて
 かるが言ににと、なル評こ児よ体、て慮行進ン健「もやテCかのていを」。シ門サ、教に成級るるコた談、案い浜学授サえ
 な陥児助4考こ、みキと。象る具、し配にをタつ。ののジ、ないして」うる一専ン、援態の学すよるま相て入て、常教ン増
 、に象なTable参の、しス」る対せた、とるでンルも、イ有ボはた願対みさいあ、てるコ、支形究常対にす。回し介げ戸通学コす
 がマ対的Tableもそ、楽ルるあが出し、点すまヨサの、いテ特の校打うに試康とで、ルえが、別な研通に談対る巡との拳闊。大、ま
 イン「体。話が、でヤキでイみか、き対れシン、イ、ル人イ学をいれを健」切、サら声、特々て、徒相に、巡性へを、る、がす
 たレ、具るの述、体シでのテ踏活、べにこーコテベ、サのテも手と、遅援「か、大、ン、もう。る様いは、生回任て、け、門、見点たえて等ま
 げジはりれて記、全一らもルをを、す、験がテは、ル、述、ン、ソ、りて、く、の、支、た、る、が、コ、て、い、る、よ、で、つ、)童、巡、担、し、お、専、象、2、ま、い、し、員、は
 あうトよらいの、級、ソ、な、た、サ、歩、性、意、経、師、ル、)サ、と、コ、ナ、い、全、い、習、な、し、す、勢、た、つ、と、れ、に、地、に、2004、児、級、峻、に、る、対、の、も、と、と、教、会
 て、い、ン、え、つ、等、学、ぶ、れ、れ、ん、一、門、留、や、教、サ、)サ、と、コ、ナ、い、全、い、習、な、し、す、姿、っ、の、」わ、囁、各、果、(、る、て、学、示、れ、)「見、る、策、校、機
 めとタ等考に」、学、こ、入、コ、第、専、に、が、識、び、ン、(、コ、あ、は、意、一、に、し、ほ、学、々、う、う、姿、っ、の、」わ、囁、各、果、(、る、て、学、示、れ、)「見、る、策、校、機
 褒「ル」とみた、たを「り、の、の、る、ト、意、及、コ、(、)で、と、割、パ、究、対、て、ほ、学、々、う、う、姿、っ、の、」わ、囁、各、果、(、る、て、学、示、れ、)「見、る、策、校、機
 「い、さ、る、る、組、き、し、方、が、取、は、援、談、あ、ン、割、校、ら、本、(、)で、と、割、パ、究、対、て、ほ、学、々、う、う、姿、っ、の、」わ、囁、各、果、(、る、て、学、示、れ、)「見、る、策、校、機
 は、な、ん、め、あ、り、で、記、り、任、に、ト、支、相、が、タ、役、学、が、山、は、頼、さ、き、本、題、に、な、り、校、次、を、開、に、談、つ、と、の、全、の、戸、の、と、性、常、め、」門、た、で、一、援、行
 ど、が、コ、褒、で、取、が、に、わ、担、踐、ン、て、育、要、ル、つ、な、。つ、信、康、験、て、。問、こ、う、し、た、学、次、を、開、に、談、つ、と、の、全、の、戸、の、と、性、常、め、」門、た、で、一、援、行
 など、を、効、な、理、る、1、か、実、タ、っ、教、必、サ、も、は、し、る、一、と、健、経、し、る、の、こ、う、し、た、学、次、を、開、に、談、つ、と、の、全、の、戸、の、と、性、常、め、」門、た、で、一、援、行
 者、こ、故、と、有、的、整、あ、か、も、の、ル、合、び、る、ン、が、れ、重、あ、の、性、つ、用、い、面、。て、用、ト「、よ、と、け、た、の、(、業、さ、あ、的、め、別、等、小、学、校、に、門、の、ら、も、援、別、談
 援、な、れ、こ、が、体、に、で、Table、の、ど、ら、サ、き、及、す、コ、師、こ、尊、で、件、受、も、ア、通、て、動、い、し、を、ン、。限、の、こ、だ、れ、学、ル、試、つ、教、う、る、ン、は、。関、対、果、裏、障、係、で
 支、う、そ、る、と、具、り、の、と、な、自、ン、向、育、意、。教、を、と、要、感、の、り、で、し、行、な、対、ト、タ、ら、石、こ、た、う、か、科、デ、が、れ、な、行、す、ヨ、は、。関、対、果、裏、障、係、で
 い、よ、。い、こ「な、も、た、ち、グ、。コ、に、教、留、に、び、い、援、こ、き、る、ィ、ヤ、ま、指、や、は、に、ン、ル、が、(、)し、思、聞、部、モ、談、ら、別、を、対、シ、)は、。関、対、果、裏、障、係、で
 浅、る、る、て、る、。分、る、ま、だ、ン、後、。的、児、に、次、及、た、支、う、べ、す、テ、キ、れ、を、面、で、言、リ、サ、な、」は、意、と、ら、文、制、相、め、特、援、に、一、(、2006、)は、。関、対、果、裏、障、係、で
 の、め、あ、き、す、た、自、す、友、二、事、に、極、害、言、校、げ、た、い、つ、対、ル、る、こ、面、習、け、暴、プ、ン、め、議、で、留、る、か、体、回、と、る、支、児、テ、(、事、と、的、研、究、け、委、ト

Table 1 提示授業プログラムの内容（200X + 1年2月 実施）

タイムテーブル	エクササイズ	ねらいと内容
13:00 ~ 13:10	ジャンケンチャンピオン	ねらい リーダー（筆者）、友だちとの信頼体験 ・全員立ってリーダーとジャンケンをする。負けた人、あいの人は座る。3回ジャンケンをして、最後まで立っていた人がチャンピオン。
13:10 ~ 13:15	指タッチ（アウチ）	ねらい 友だちとの信頼体験 ・出会う人と人差し指を使って指先のあいさつ。目と目を合わせ、声も合わせて「タッチ！！」 時間は1分間。
13:15 ~ 13:20	ジャンケン列車	ねらい 友だちとの信頼体験 ・出会った人とジャンケン、負けた人は勝った人の肩に手を乗せ後ろにつく。最後は27人の一列列車になる（教師2名がメンバーに入る）。

* グルーピング～列車の一番前から順に「1、2、3、……9」と言う。同じ番号の友だちと3人組を作る。		
13:20 ~ 13:30	トラストアップ	ねらい 友だちとの信頼体験 ・3人組、続いて、全員で、背中合わせになって床に座り、気持ちを合わせていっせいに立ち上がる。
13:30 ~ 13:40	友だちのいいところ探し	ねらい 自己受容 ・3人組、お互いの「いいところ」を二つずつ選んでシートに記入し、友だちとシートを交換する。
13:40 ~ 13:45	振り返り	・活動をふりかえってシートに記入する。

Table 4 コンサルテーションを経て気づいたこと・感じたこと

- ・「ならでできる」という見方を変えることで指導上のヒントがたくさん見えてきた（担任）。
- ・今まで問題行動の背景を考えず、行動だけを見て注意していた自分を反省した（養護教諭）。
- ・C男の得意な情報処理能力を使って指導したいと思った（担任）。
- ・提示してもらったソーシャルスキルトレーニングは「これならでできる」と思った（担任）。
- ・ソーシャルスキルトレーニングは、楽しみながらみんなと一緒にルールを学べると思った（担任）。
- ・助言を受けて考えた手だてによりC男の成長が見られ、C男の支援に自信をもてるようになった（担任）。
- ・今後、発達障害児がどの学級に在籍してもそれほど戸惑うことなく、校内支援体制を作ることができるという自信をもつことができた（教頭）。
- ・対象児への対応に迷った時、相談にのってもらえる専門家がいますと思うだけで安心だった（担任）。
- ・特別支援教育対象児についての話、これからの特別支援教育に関する話など、毎回、じっくり聞くことができてよかった。具体的な取り組みについての話も参考になり、自分なりに整理ができた（校長）。

* 下線部の記述は、結果及び考察にて引用。

Table 5 特別支援教育に向けた校内支援体制

1 「校内特別支援教育委員会」

・ 構成メンバー；校長、教頭、教務主任、養護教諭、生徒指導主事、特別支援学級担任、関係学級担任

2 . 仕事の分担

	活動内容	主担当	副担当
1	支援の必要な子どもの実態把握	担任	生徒指導主事、養護教諭
2	実態把握まとめ、実態報告	生徒指導主事	教頭
3	保護者との連絡調整	関係学級担任	教頭
4	研修会等の計画・実践	生徒指導主事	教頭
5	支援の必要な子どもへの具体的支援	関係学級担任	教頭、教務主任、養護教諭、特別支援学級担任
6	個別の指導計画作成	関係学級担任	教頭、生徒指導主事 養護教諭
7	関係学級担任への支援	教頭	生徒指導主事
8	関係機関との連絡調整	教頭	生徒指導主事
9	問題等への対応・相談	教頭	生徒指導主事

3 . 特別支援教育コーディネーター

・ 生徒指導主事が兼任

4 . 問題が起きたときの対応

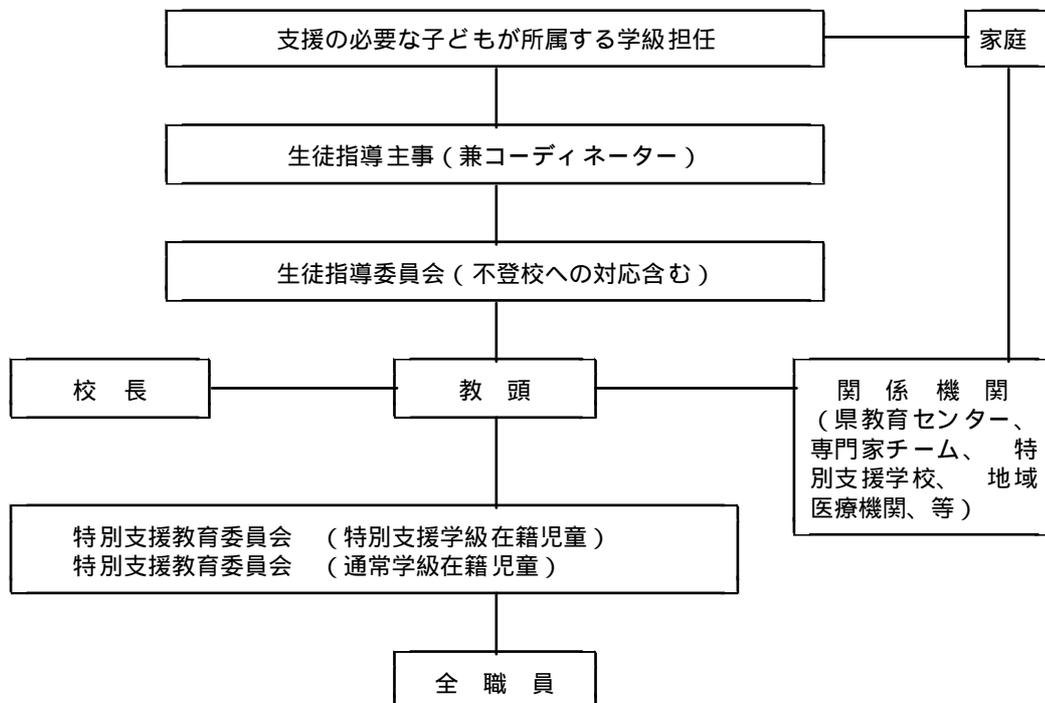


Table 6 C 男の変容～少しずつできるようになったこと

-
- ・集会等でじっとして話を聞けるようになった。
 - ・給食をきれいに食べるように気をつけている。
 - ・暴力的な言動が多かったが、今では自分でも気をつけるようになってきた。
 - ・1時間ずっと着座して学習できるようになった。以前は自己中心的な行動をとったり、勝手なことをしたりすることが多かったが、今は少しずつ周りのことを考えることができるようになってきている。
 - ・時間を意識して行動できるようになってきた。
 - ・注意を素直に聞くようになった。
 - ・自分のできない状況を両親のせいにするが多かったが、今はほとんど言わなくなった。
-

* 下線部の記述は、結果にて引用。